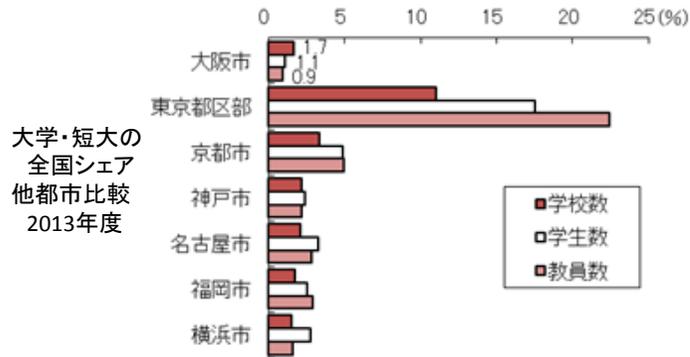


大阪の成長戦略(25年1月版)課題

近畿圏では、工場・大学の立地制限により、周辺部等への移転が進み、産業集積としての力を喪失

(市内における大学立地の現状)

工場等立地制限法(1964~2002)により郊外流出が続き、サテライトについては梅田周辺に立地するものの、大学数や学生数は他都市に比べて極めて少ない



課題解消



国際競争を勝ち抜くハイエンド人材の育成

「強い大阪・関西」をめざすためには、あらゆる分野での人材育成・集積力を強化する

(求められる人材の育成)

- ・国際的競争力を持つ高い技術力
- ・グローバル市場における戦略的な思考と交渉力
- ・将来の需要動向を掴む情報収集力、分析力
- ・国際的な標準や規格を確立する能力
- ・国際社会での活躍に必須である語学力 などを持つ人材



大学の誘致や集積促進、大学間の競争を促す環境の整備などにより、国際競争を勝ち抜く人材育成の環境づくりを推進



めざすべき都市像の実現

ハイエンドな産業・人材の集積拠点
国際社会の中で活躍できるハイエンド人材が育ち、集まり、交流することにより、新たな技術革新を創出し、ハイエンド産業と相乗効果を発揮する(例:大学の知の集積を活かして相乗効果を生むシリコンバレーとスタンフォード大)



大学誘致の方針

概ね1ha以上で鉄道駅に近く、かつ大学の立地ニーズが高い市有地については、個別に判断の上、原則として最有効使用を想定した不動産鑑定評価額により優先的に売却を進め、4年制大学、大学院を誘致

キャンパス型大学の都心回帰

市内には、キャンパス型大学の立地に適した、概ね1ha以上の(複数の)鉄道駅に近い交通至便な土地が少ない

(交通至便な場所への移転 近畿圏の事例)

- ・立命館大学 茨木 約99,000㎡ H27年予定
- ・関西大学 JR高槻 約17,000㎡ 小中高併設 H22年
- ・関西大学 南海浅香山 約28,000㎡ 人間健康学部 H22年
- ・同志社大学 今出川 約7,700㎡ H24年

